

長坂

希望の朝の陽が昇る

平戸市立生月中学校
学校だより 第7号
(令和2年 7月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

部活動・市中総体を通じて学んだこと ～市中総体「陸上・球技・武道大会」が行われました。～

去る7月2日(木)に陸上大会が、5日(日)に球技・武道大会が実施されました。6月30日に行われた激励会では、各部の主将が、これまで支えてくれた方々への感謝と、勝利を目指して全力で競技に取り組む決意を述べました。私からは、勝っても負けても、最後まで全力を尽くしてくれるよう話しました。また、今年度は、1年生を中心に初めて「応援団」が結成され、選手にエールを送りました。

競技当日は、どの部も、これまでの練習の成果を十分に発揮し、正々堂々、全力で各競技に取り組んでくれました。また、9日(木)には表彰伝達と報告会が実施され、各部の主将が、応援のお礼と大会を終えての感想を述べました。各生徒の思いのこもった感想、特に、『全力を出し切ったので悔いはない』という言葉に感動しました。

選手だけでなく、すべての生徒が、部活動・市中総体を通じて、「大切なもの」を学んでくれたことをうれしく思います。また、保護者の皆様には、日々のご支援、当日の運営補助・応援など、ありがとうございました。



「新しい生活様式」コツコツと ～新型コロナウイルス対策 粘り強く、確実に～

5月11日の教育活動の再開から、2か月が経ちました。おかげさまで、中学校での教育活動は順調に進んでいます。と同時に、登校時の手指の消毒や、定期的な手洗い等がおろそかになっているように感じます。また、暑くなってきたせいか、密集・密接する場で、マスクを着用していない場面も見られます。

しかし、最近、東京都だけでなく、全国的に新型コロナウイルス感染症の新規感染者が増加しています。また、治療薬やワクチン等の開発には、もう少し時間がかかるようです。さらに、報道等では、『新型コロナとの共存』という言葉も聞かれるようになってきました。



今、私たちにできることは、検温・体調確認、マスクの着用、手洗い・手指の消毒、3つの密の回避等、「新しい生活様式」を地道に実践していくことです。

学校でも家庭・地域でも、感染防止対策を粘り強く、確実に実施していきましょう！

【ありがとうございます！】

紹介が遅くなりましたが、品薄になっていた「非接触型体温計」を、生月町で創業した大石建設さんのご協力で購入することができました。また、市内の小・中学校に、志々伎町にある福田酒造さんから「消毒用アルコール」の寄贈がありました。

♪笹の葉 さ～らさら ～短冊に願いを託して～

今月初め、「七夕飾り」が教室、廊下等、校舎内にいくつも飾られました。7月7日の七夕に合わせて、生徒と先生方が協力して飾り付けをしたものです。

私の小さい頃は、毎年8月7日ごろに、兄弟みんなで作ったリングや星型の飾りと願い事を書いた短冊を飾りつけた笹竹を家の軒端に飾っていました。学校の短冊にも様々な願い事が書かれています。

みんなの願いが叶うといいですね。

